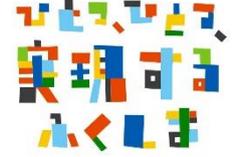


主要な農作物の生育情報



令和7年度 第5号

(令和7年8月15日現在)

福島県農林水産部農業振興課

【作物】

1 水稻（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

農業総合センターの生育調査におけるひとめぼれの出穂期は、本部（郡山市）が7月29日で平年より4日早く、会津地域研究所（会津坂下町）が7月27日で平年より3日早く、浜地域研究所（相馬市）が7月26日で平年より4日早くなっています。

表1 農業総合センターにおける水稻の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	幼穂形成始期 (月.日)	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)
本 部	ひとめぼれ	5.15	7. 8 (-4)	7.29 (-4)	[9.10]
	天のつぶ	5.15	7.11 (-1)	8. 2 (-2)	[9.12]
	コシヒカリ	5.15	7.16 (-3)	[8. 9]	[9.19]
会津地域 研 究 所	ひとめぼれ	5.20	7. 4 (-4)	7.27 (-3)	[9.11]
	天のつぶ	5.20	7. 7 (-3)	8. 2 (+1)	[9.13]
	コシヒカリ	5.20	7. 9 (-5)	8. 4 (±0)	[9.15]
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5. 9	7. 1 (-5)	7.26 (-4)	[9.10]
	天のつぶ	5. 9	7. 2 (-4)	7.28 (-4)	[9.18]
	コシヒカリ	5. 9	7. 9 (-5)	8. 3 (-5)	[9.21]

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) ()内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前4年平均(2020~2021, 2023~2024年)、それ以外では前5年平均(2020~2024年)との比較。[]内の数値は、平年値。

2 大豆（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

農業総合センターの生育調査における大豆（標播）の開花期は、本部（郡山市）のタチナガハが7月19日で平年より8日早く、会津地域研究所のあやこがねが7月15日で平年より9日早く、浜地域研究所のタチナガハが7月19日で平年より12日早くなっています。

表2 農業総合センターにおける大豆の生育状況

調査場所	播種 時期	品 種	播種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	5葉期 (月.日)	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)
本 部	標播	タチナガハ	5.29 (-4)	6. 8 (-6)	6.28 (-9)	7.19 (-8)	[10.26]
		里のほほえみ	5.29 (-4)	6. 8 (-5)	6.29 (-7)	7.20 (-6)	[10.26]
	晩播	タチナガハ	6.20 (±0)	6.28 (±0)	7.20 (+1)	8. 2 (-2)	[10.30]
		里のほほえみ	6.20 (±0)	6.28 (+1)	7.20 (+1)	8. 3 (±0)	[10.30]
会津地域 研 究 所	標播	あやこがね	5.29 (-3)	6. 6 (-4)	6.27 (-9)	7.15 (-9)	[10.21]
		里のほほえみ	5.29 (-3)	6. 7 (-3)	6.29 (-7)	7.16 (-9)	[10.28]
	晩播	あやこがね	6.20 (±0)	6.28 (±0)	7.17 (-2)	8. 2 (-1)	[10.23]
		里のほほえみ	6.20 (±0)	6.28 (±0)	7.18 (-1)	8. 2 (-1)	[10.31]
浜 地 域 研 究 所	標播	タチナガハ	5.29 (-11)	6. 3 (-12)	7. 4 (-7)	7.19 (-12)	[10.28]
		里のほほえみ	5.29 (-11)	6. 3 (-12)	7. 4 (-6)	7.19 (-11)	[10.25]
	晩播	タチナガハ	6.20 (-3)	6.28 (-1)	7.13 (-10)	8. 1 (-6)	[11. 1]
		里のほほえみ	6.20 (-3)	6.28 (-1)	7.13 (-9)	8. 1 (-6)	[10.30]

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) ()内の数字は、前5年平均(2020~2024年)との比較。[]内の数値は、平年値。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県北地方の4月中・下旬定植の雨よけ栽培では、順調に生育し、伊達地方では6月中旬と7月上中旬に出荷ピークを迎えています。県北、県中地方の5月下旬定植の露地栽培は、平年並の6月下旬から収穫が始まり、側枝の収穫中となっています。6月以降気温が高く推移し、生育は前進化したが、高温・乾燥により芯やけや萎れ、一部曲がり果等が発生している。

病害は、べと病、炭そ病、つる枯れ病等の発生が見られています。害虫は、アザミウマ類やハダニ類、カメムシ類が平年より多く発生しています。

2 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型では、現在収穫中で、平年並の10～12段花房開花となっています。また、南会津地方の5月下旬定植の作型では、生育は、平年よりやや遅れ、6～7段開花、収穫は、平年より2～3日遅れの7月中旬から始まっています。

高温・乾燥の影響により花落ちや葉やけ等が見られています。

病害虫は、葉かび病やすすかび病、一部で青枯病が見られ、コナジラミ類やオオタバコガ、トマトキバガの発生が見られています。

3 さやいんげん

県中地方の5月定植の作型は平年並の6月下旬より出荷が始まりましたが、高温・乾燥の影響で、花落ちが見られています。6月以降定植の遅まきの作型は、概ね順調に生育していますが、同じく、高温・乾燥の影響で、花落ちが見られています。

病害虫は、ハダニ類やアザミウマ類、カメムシ類の発生が見られていますが、目立った病害の発生はみられていません。

4 夏秋ピーマン

県中地方の4月定植のトンネル栽培、5月定植の露地栽培は、概ね生育は順調ですが、高温・乾燥の影響で、尻腐れ果や日やけ果が多くみられています。

病害虫は、オオタバコガ、アブラムシ類、アザミウマ類の発生が見られていますが、目立った病害の発生はみられていません。

【果樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における8月1日現在の生育概況）

1 もも

「あかつき」の収穫開始は7月25日で平年より6日早く、昨年より6日遅くなりました。

「ゆうぞら」の果実肥大は、暦日比較では縦径が61.7mm（平年比98%）、側径が61.5mm（平年比109%）と平年よりやや大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、平年並です。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が53.8mm（平年比95%）、横径が69.6mm（平年比100%）と平年並、「豊水」は縦径が58.7mm（平年比104%）、横径が67.3mm（平年比107%）と平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、「幸水」は平年より小さく、「豊水」は平年並となっています。

気温等に基づくDVRモデルによる「幸水」の発育予測では、収穫盛期は8月22日ごろで平年より7日早い見込みです。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が65.1mm（平年比96%）、横径が75.9（平年比98%）と平年並、「ふじ」は縦径が56.2mm（平年比93%）、横径が60.8mm（平年比91%）と平年よりやや小さい状況です。満開後日数で比較すると、両品種とも平年より小さい状況です。

4 病害虫の発生

りんごの褐斑病やナシヒメシンクイの発生が平年に比べて多い地域があります。また、7月10日に果樹でカメムシ注意報が発表されたことから、果樹情報等を発行して注意を喚起し、現地における防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 コギク

8月咲きは、草丈が平年並からやや低く、開花時期が平年並からやや遅れており、既に出荷が始まっています。それ以外の地域では、お盆にかけて出荷量が増えていく見通しです。

9月咲きは、草丈、葉数とも概ね平年並に生育しており、早い地域では発蕾が始まっています。病害虫では、ハダニ類、アザミウマ類、カメムシ類の発生が続いています。

2 リンドウ

8月盆向けの早生品種では、草丈が平年からやや低い状態です。開花時期が平年並からやや遅れており、7月下旬頃から出荷が始まっており、8月中旬までまとまった出荷が続く見込みです。

9月彼岸向けの中生品種は、草丈、葉数とも概ね平年並の生育です。

病害は、葉枯病、黒斑病、褐斑病の発生が続いています。また、害虫は、ハダニ類、リンドウホソハマキ、オオタバコガの発生が続いています。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、平坦部、山間部共に2番草の生育が順調に進んでいますが、一部の地域では雨不足や高温による夏枯れの被害があります。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、順調に生育しており、収量は平年並～平年より多くなる見込みですが、一部の地域では雨不足や高温による夏枯れの被害があります。

<< 高温に関する天候情報が発表されています >>

◎ 令和7年度農業技術情報第10号（令和7年8月8日発行）

「高温・少雨に関する農作物等の技術対策」

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/704338.pdf>

を活用し、適切に対応しましょう。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、体調管理に十分留意し熱中症対策をしっかり行い、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>